

単元名：

「100 をこえる数」

(全11時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年7月1日(木) 第2校時

授業学級 2年東組

授業会場 2年東組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

(〇〇の子ども達が) 〇〇の場面で、〇〇を通して、〇〇を□□することができる/できるようになる。

1年時に100までの数について学習した子どもたちが、100をこえる数の星を正確に数える場面で、大きな数を工夫して数える方法を考える活動を通して、大きな数を10や100のまとまりをつくることで正確かつ簡単に数えることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 教科書(p74,75)の星の絵を見て、本時の学習問題を把握する。	「えー数えれないよ！」 「大変！」 「多すぎるよ。」	スクリーンに【教科書 p74,75】をうつす。 「さて、問題です。星は何個ありますか？」 「1個1個数える？」 「なんで大変？」	5
	【もんだい】星の数は何かかな？	【学習問題】 100をこえる大きい数を数え間違えないようにするにはどうすればいい？		
	2. 学習課題をつかむ。	手元のプリントを見て数え方を考える。 「多すぎるから1個1個数えてたら間違えちゃう。」 「少しずつまとめるといいかもしれない。」 「うんまとめる！」	【教科書 p74,75】をコピーしたプリントを配り、空いているところに名前を書かせる。 「じゃあどうすればいい？」 「どうすれば間違えないように数えられるかな？」 「まとめたら数えやすいかもね！」 「まとめるってどうやってまとめればいい？」	5
	【学習課題】大きな数はまとまりをつくと数えやすそうだ。(カギ)			

展開	3. 見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・10や20、50などのまとまりをつくと数えやすいと予想する。 ・色ごとまとめたら数えやすいと予想する。 	<p>※その数え方のいいところを考えるように助言する。(「なんで10ずつまとめるといいの？」など)</p>	4
	4. 見通しを基に個人で数える。	<ul style="list-style-type: none"> ・色ごと数える。 ・10、20、50などでまとめて数える。 <p>「359！」 「365。」 「368！」</p>	<p>「まとめ方にもいろいろあるね」 「一旦数えてみよう！」</p> <p>「何個ある？」</p> <p>「あれ、こたえばらばらだね。」</p>	10
	5. どのように数えたか発表し、友だちの数え方と自分の数え方を工夫する。	<p>「10ずつまとめて10が何個あるか数えて残りを足した。」 「色ごとで数えて後から全部の数を合わせた。」 「空の青の色の違いごと数えて後から足した。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの考えを聴いて自分の考えとの共通点や相違点を捉える。 <p>「10ずつまとめるのが簡単。」 「色ごとでも少し大変。」</p> <p>「36個」</p> <p>「36個数えるのも少し大変かもしれない！」</p> <p>「10を5個にして50ずつまとめる。」 「10は10個で100じゃない？」 「100で囲んだら簡単！」 「3個」 「三百」</p> <p>「6個」 「60！」 「5個」</p>	<p>どのように数えたか理由とともに発表させる。(気になる児童や共有してほしい児童のプリントを写真にとって見せる。)</p> <p>「〇〇さんの数え方すごいなって思ったんだけど教えてくれる？」</p> <p>「たくさん方法があったね。」 「みんなどう思う？数が多すぎるときどのやり方で数えたい？」</p> <p>黒板を見ながら全体で数え星の数を確認する。</p> <p>「10のまとまりは何個できた？」 「10のまとまりを36個一回一回数えればいいかな？」 「それも大変かな？じゃあどうしよう。」</p> <p>「100にしたら簡単？」 「100のまとまり何個あるの？」 「100が3個でなんていう？」 「残りの中で10のまとまりは何個あるの？」 「10が6個で？」 「残りの星は？」 「じゃあ合わせたら？」</p>	15

		「三百六十五」	「さんびゃくろくじゅうごって言えばいいの？」	
終末	6. 学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・星の数を工夫して数えるには 10 のまとまりや 100 のまとまりをつかって数える。 ・100 のまとまり 3 個で三百 (さんびゃく) という。 ・100 が 3 個、10 が 6 個、1 が 5 個で三百六十五という。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分で学んだことをまとめ、明確化するよう促す。 (※先に黒板にまとめを書かない。) 「今日の活動を通してどんなことがわかったかな？」 黒板にまとめを書く。 <p>(・たくさんの数を数えやすくするには 10 や 100 のまとまりをつくる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100 が 3 つでさんびゃく 65 を合わせてさんびゃくろくじゅうご (三百六十五) (黒板)) 	6

【本時の評価 (評価する対象)】
 大きな数を 10 や 100 のまとまりをつくることで正確かつ簡単に数えている。(発言、プリント)
 (知識・技能)

【評価基準】

- ・10 や 100 のまとまりをつくり、自分の言葉や図でまとめたり説明したりしている。
(十分満たしている◎)
- ・10 や 100 のまとまりをつくられている。
(おおむね満たしている○)
- ・10 や 100 のまとまりをつくらることができない。
(満たしていない△)

